

春季九州学生リーグ・サツキ in カップでの審判を振り返って

《5月2日》

福岡大学で行われていた九州学生リーグに、高橋審判員と参加してきました。

・1 試合目→学生2部リーグ女子

初めて県外での審判と大学生の試合を吹くということもあり、緊張しながらコートに立ちました。緊張が笛に伝わってしまい、悔いの残る試合となりました。

・2 試合目→学生1部リーグ女子

2 試合目ということもあり、1 試合目に比べて少し余裕を持って吹けたと思います。しかし、1部の試合では、2部の試合に比べて少し荒いプレーが目立ちました。

《5月4日》

大分で毎年開催されているサツキインカップ。高校生男子の強豪チームが全国から集まり5日間にわたって行われている合宿に参加してきました。

高校生男子ということもあり、スピード感・接触プレー・試合展開など全てが激しく笛一つで試合の流れが変わってしまいそうなくらい緊迫したムードでした。

その中で何度か、選手がなんの笛か分からず、試合展開が止まってしまうジャッジをしてしまいました。

【反省と課題】

・基本的動作の徹底→ゴールイン時、ベンチ側の手を上げる。

反則があった際、方向指示を先に行う。

フリースロー時、ポイントの指示と再開の笛。

・ポジショニング→常に動き、見えやすい位置をとる。

見えにくいサイドシュートに対して、ゴール側に一歩引き、

シュート時の接触を確認する。

・笛のタイミング→試合のスピード感を無くさないよう、分かりやすい笛、流れの中での笛を心がける。

・前半での警告→前半の時点で、注意や警告を出しておくことにより後半、スムーズに試合展開ができる。

特に、高校生男子などは早い段階で反則や罰則の線引きをすれば、後半危険なプレーが少なくなる。

『感想』

今回県外の審判の方や、福岡大学の田中先生、高校男子チームの先生方、大分の審判員の先輩方など沢山の方々からご指導をいただきました。

まだまだ課題・反省点は沢山ありますが、今回ご指摘いただいた上記の項目をまず改善していきたいと思っています。そして、私が一番大事だと思っているのは、ペア審判員やオフィシャルに入っている方々への気配りと信頼関係を作る事です。

審判は1人では出来ませんし、ペアやオフィシャルとの信頼関係を作ることによって最高の試合運びが出来ると思います。今、私とペアを組んでいる高橋審判員に感謝の気持ちを持ち、2人で少しでも早く上の階級にいけるよう頑張っていきます。

平成27年5月21日 松本紗也香